

インテリジェント通信BOX

Intelligent Communication BOX

1. 概要

国や自治体が整備・運用している河川情報システムでは、多数の雨量や水位等観測点情報を収集し、関連機関や上位システムに対しリアルタイムで配信するため、高い信頼性が要求されるとともに種々の通信手順に適應できる柔軟性が必要となる。

従来、このデータ集配信分野では、サーバシステムやFAPC等の汎用機器を用いることが主流であったが、耐用年数や可動デバイスの多用による保守コストの増大、設置スペース・消費電力の増大、ウイルス等からのセキュリティ確保などが課題となっている。

今回、これらの課題を解決するため、可動デバイスを排除した省スペースなBOX型構造で、組込み型OSを使用した通信装置を開発した。

2. 特長

- (1) 汎用的な通信仕様を標準装備
 - ・全国の国や自治体の河川情報システムで汎用的に使用されている通信仕様を標準実装
- (2) 柔軟なシステムの構築・拡張が可能
 - ・複数方路からの入力、複数方路への配信に対応
 - ・豊富な取扱データ種別
 - ・特殊な通信手順にも対応可能（オプション）
 - ・一般的な雨量、水位演算に対応（オプション）
 - ・最新観測データの簡易WEB表示機能（オプション）
- (3) 高セキュリティ
 - ・組込み型OS、JRC独自ミドルウェア上で動作するため、一般的なウイルスの影響は皆無
- (4) 容易なメンテナンス性
 - ・ネットワーク経由での状態確認、ソフトウェアのアップグレードが可能
 - ・ウイルス対策ソフトの実装や定期的なOSのUpdateが不要
- (5) 長寿命設計
 - ・ハードディスク、ファン等の可動デバイスを使用しない長寿命設計

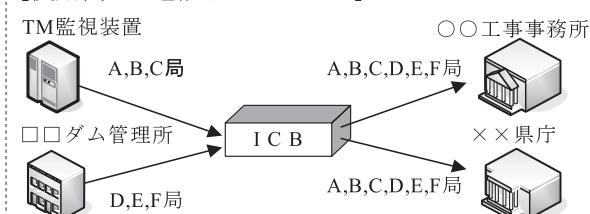
3. 仕様

- (1) 基本部
 - ・OS : リアルタイムOS
 - ・LAN-IF : 100BASE-TX
 - ・動作温度 : 0～50℃
 - ・湿度 : 10～95%（結露しないこと）
 - ・電源 : AC100V 50/60Hz
 - ・消費電力 : 50VA以下

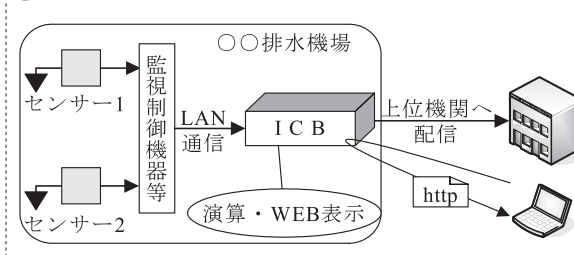


インテリジェント通信BOX (ICB)

[使用例1：通信サーバとして]



[使用例2：排水機場等の簡易監視システムに]



- ・寸法および重量 : W218×H50×D270 (約 2 Kg)
 - ・その他 : FANレス, ディスクレス構造
- (2) 対応通信プロトコル
 - ・統一河川情報システム テレメータ伝送仕様
 - ・総合河川情報システム 本省統括局 伝送仕様
 - ・国電通仕21号
 - (3) 最大方路数：入出力合わせて最大 8 方路
 - (4) 標準取扱データ種別

・雨量	・水位	・ダム諸量
・堰・樋門	・排水機場	・風向風速
・潮位	・積雪	・気温

お問い合わせ先 ソリューション営業部
 官庁営業グループ 電話 03-3348-6171
 公共営業グループ 電話 03-3348-3795